

特定非営利活動法人 わおん

平成 29 (2017) 年度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日～30 年 3 月 31 日



こどもたちがもっと元気に輝く地域に

特定非営利活動法人

わおん♪



〒399-0704 長野県塩尻市広丘郷原685

TEL : 0263-87-3005 FAX:0263-87-4024

E-mail : waon@ac. auone-net. jp

<http://npowaon.com>

わおん 松本平

検索

♪平成29年度事業の成果・総括

今年度は昨年度に引き続き、ハイジの森で通常の森カフェ以外に、里山子育て子育ちセミナー・実践イベントなど様々な事業を実施することができた。常連の参加者が少しずつ増えている。また、今まで森に足を運ばなかった人にも足を運んでもらう事ができた。森カフェコーディネーターも増え、様々な地域で活動が展開されるきっかけをつくることができた。

新規事業として、わおん♪キャンプを6本実施した。松本市や岡谷市にも広報し、多くの参加があった。今後も継続して実施していきたい。

♪事業の実施に関する事項

一 特定非営利活動に係る事業 一

(1) 環境と子どもに関わる体験事業

1-1 わおん♪自然探検隊/主催事業

(子どもゆめ基金助成事業／2010年度より継続事業)

日程：

2017/4/8 第1回 入隊式 参加者38人 サポーター5人

2017/5/13-14 第2回 春のキャンプ 参加者33人 サポーター7人

2017/6/10 第3回 外あそびの達人になろう① 参加者27人 サポーター7人

2017/7/8 第4回 外あそびの達人になろう② 参加者23人 サポーター6人

2017/8/4-6 第5回 夏のキャンプ 参加者29人 サポーター8人

2017/9/9 第6回 ひみつ基地であそぼう 参加者22人 サポーター7人

2017/11/11-12 第7回 秋のキャンプ 参加者17人 サポーター10人

会場：柏茂会館、上小曾部転作促進研修センター

参加者 小学校3年生～中学校2年生 延べ189人（↓13人）

サポーター 延べ50人（↑3人）

事業費：1,166,190円（子どもゆめ基金365,190円、参加費収入801,000円）

成果：2010年度から活動をはじめ、8年間継続している。継続参加の子どもたちも多く、参加してからより頼もしくなった。継続して参加させたい、高校生になってサポーターになりたいなどの声をいただいている。29年度は、信州大学の学生にサポーターとして関わってもらう機会があった。

課題：サポーター集めに毎回苦労している。

子どもゆめ基金が、28年度87万円に対して、29年度は37万円と大幅な減額があった。今後継続して事業を実施するため、スポンサーを探したり、参加費をあげるなど工夫が必要。平成30年度は参加費をあげて実施予定。



こどもたちがもっと元気に輝く地域に



1-2 ハイジの森探検隊

会員からの実施希望の相談があり、企画検討中

1-3 森カフェプロジェクト（ハイジの森）／主催事業 (元気づくり支援金など／2015年度より本格実施事業)

◆通常森カフェ

2017/4～2018/3 延べ47回（↓7回）開催（天候不順により中止9回）

参加者 0歳～保護者まで 延べ445人（↑34人）

◆森カフェイベント：参加者延べ96人（↓13人）

2017/5/3 小学生のためのたき火実践講座 参加者：子ども11人、保護者8人

2017/7/9 写真×森の癒し

※元気づくり支援金 里山子育ち事業 参加者 10組20人

2017/7/30 オシャレキャンプワークショップ（会員自主企画事業） 参加者 1人

2017/8/27 ヨーガ×森の癒し

※元気づくり支援金 里山子育ち事業 参加者 2組5人

2017/10/7 コーヒー×森の癒し

※元気づくり支援金 里山子育ち事業 参加者 8組14人

2017/11/5 クッキング×森の癒し

※元気づくり支援金 里山子育ち事業

参加者 4組9人

2016/12/23 わおん♪里山のクリスマス会 参加者29人

※出前外あそび（外あそびネットワーク）

会場：ハイジの森（イベントは、上小曾部転作促進研修センターも利用）

事業費：

◆通常森カフェ 参加費：146,500円（↑22,200円）

◆森カフェイベント 参加費：110,700円（↑19,700円）

助成金：元気づくり支援金

成果：本格開催に丸3年となり、参加者数は増えている。今年度は天候不順が多く、昨年度よりも中止なった回数が6回多かったが、それでも全体の参加者は増加した。森カフェコーディネーターの方に開催をお任せすることもできるようになったので、今後、開催回数を増やすことも可能になってきた。

課題：夜間のイベントや、キャンプも開催できるようにフィールドの整備を進めていく。



こどもたちがもっと元気に輝く地域に



1-4 県外・市外の子どもたち向けのキャンプ実施

●わおん♪キャンプの実施

2017/7/22-23 わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 小学校1~6年生20人 保護者1人

2017/7/29-30 わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 小学校1~6年生20人

2017/9/16-17 わおん♪ひみつ基地探検隊

参加者 小学校1~6年生18人 保護者1人

2017/9/23-24 わおん♪ひみつ基地探検隊

参加者 小学校1~6年生21人 保護者1人

2017/10/14-15、2017/10/21-22 わおん♪もくもくキャンプ

参加者 小学校1~6年生10人

2017/10/21-22 わおん♪もくもくキャンプ

参加者 小学校1~6年生6人 保護者1人

会場：柏茂会館、上小曾部転作促進研修センター

事業費：参加費 1,444,500円

サポーター：34人

成果：今年度、新規事業として実施した。松本市、塩尻市、岡谷市の後援をとり、学校にチラシを配布した。ツリーハウスキャンプとひみつ基地探検隊については、申し込み開始すぐに定員を超える応募があった。今後の継続事業としたい。

課題：スタッフの確保が必要になる。大学生などにも声をかけ、充実させたい。



1-5 塩嶺体験学習の家／受託事業：塩尻市教育委員会 (2011年度より継続事業)

2017/5/20-21 体験学習フェスティバル、オプション企画 35名

2017/6/11、9/10、10/29、11/26 子ども未来塾リーダー研修の運営

2017/4~2018/3 塩嶺体験学習の家のブログの更新

2017/11/30 協力団体の交流会

会場：塩嶺体験学習の家

成果：2011年度より継続して事業が実施できている。体験学習フェスティバルは定着してきた。多くの参加者に来てもらう事が出来ている。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



課題：2016 年度からは予算が大きく減り、ニュースの発行と指導者養成講座を削り事業規模が縮小。



1-6 こどもしおじり／受託事業：塩尻市市民交流センター交流支援課 (2016 年度より実施)

2017/12/9・10 こどもしおじり開催

2017/4～2017/12 実行委員会開催

参加者 小学 3 年生から中学生 138 人

専門家：9 日：25 社 53 名、10 日：24 社 56 名

当日スタッフ：9 日：40 名、10 日 45 名

コアスタッフ：12 名

成果：定員の 100 名を大幅に超える申し込みがあり、抽選で 138 名を受け入れた。専門家、コアスタッフ、当日スタッフなど、多くの協力者を得ることが出来、様々な主体との協働事業として成功することが出来た

課題：定員を増やせるよう、会場と予算の調整が必要。予算的には厳しいので、効率よく実施しながら、成果を上げていきたい



1-7 出前イベント／受託

2017/6/5 蟻ヶ崎児童館

内容：外あそびの達人講座（ロープワーク、たき火）で基地遊び

2017/6/17、7/15-16、12/16 ジュニアリーダー養成講座

2017/6/25 城北地区育成会 内容：自然体感プログラム

2017/7/2 塩尻子ども劇場 ネイチャーゲーム

※出前外あそび（外あそびネットワーク）

2017/8/21・22 蟻ヶ崎児童館

内容：外あそびの達人講座（ロープワーク、たき火）で基地遊び

2017/9/19 宗賀児童館 内容：自然体感プログラム

2017/10/3 蟻ヶ崎児童館

内容：外あそびの達人講座（ロープワーク、たき火）で基地遊び

2017/10/3 松塙筑小学校教育課程研究協議会【生活科】

2017/10/19 広丘野村保育園 あそびの広場 内容：自然体感プログラム

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



2017/11/9 島内小学校 内容：自然体感プログラム

2018/3/16 宗賀児童館 内容：外あそびの達人講座（焚き火）

2018/3/27 蟻ヶ崎児童館

内容：外あそびの達人講座（ロープワーク、たき火）で基地遊び

事業費：受託金額 242,900円（↑57,900円）

成果：平成28年度から、児童館の出前イベントについて塩尻市が予算を組んだが、今年度の依頼は少なかった。また、蟻ヶ崎児童館からは、継続して依頼をいただいている。子ども会育成会のジュニアリーダー養成講座について、こども課から依頼があった。

課題：塩尻市の児童館の出前イベントについては、継続していくこととなった。きちんと成果を市に伝えていく必要がある。また、その他からの出前イベントの受託をさらに増やせるよう、積極的に営業活動をし、増やしていく必要がある。2018年度は子育て支援センター、保育園関係に営業を掛けられなかったので、2019年度は声をかけていきたい。



(2) 体験事業に関する普及交流事業

2-1 げんすけ祭り/主催事業（2010年度より継続事業）

日程：2018/2/11 10時～15時

会場：塩尻市市民交流センター（えんぱーく）3階

参加者約300名 出展団体 15団体

子どもサポーター 7人 こども会議 2回実施

事業費：74,250円（↓6,545円）

（出展料29,000円、グッズ売り上げ9,500円、体験売り上げ35,750円）

成果：子どもたちが一から企画を考える子ども会議を2014年度から継続して実施することができた。メンバーは入れ替わってきているが、今年度は7名が関わってくれた。2月のイベントとして定着してきた。参加団体からは継続した実施を希望する声が多くあがった

課題：わおんとしての収益が伸び悩んでいる。売り上げを増やすとともに、経費や手間が減らせるよう工夫したい。

えんぱーくの交流事業に応募したが、共催事業にできずに採択されず。交流支援課や図書館、子育て支援センターとのコラボイベントにすれば、共催となり会場代がかからずに実施できる可能性がある。



こどもたちがもっと元気に輝く地域に



2-2 各種交流会（げんすけ Bar、lunch、お茶会）

実施しなかった

2-3 出張げんすけ+げんすけ縁日／コラボ企画・ブース出展

2017/4/16 さくらフェスタ

2017/4/29・30 チロルの森クラフト市

2017/5/21 体験学習フェスティバル

2017/6/15 松本信用金庫 ※受託

2017/9/2 森のフェスティバル ※出前外あそび（外あそびネットワーク）

2017/9/3 ひらいで遺跡まつり

2017/10/7・8 長野プロパンガス ※受託

2017/10/28 ハッピーハロウィン

2017/11/18・19 木育フェスティバル&まちづくり交流会

2018/2/17 こども食堂 ※受託

売り上げ：172,900円（体験168,650円、グッズ4,250円）（↑34,095円）

内容：受託 3件（↑1件）、自主的に参加 7件（↓3件）

成果：いろいろなイベントに出向くことで、わおんやわおんの活動をPRすることができた。出展件数は減ったが、売り上げは上がった。単価の高い体験を中心に実施した成果が出た。チロルの森は売り上げがほとんどないので、今後は参加しない。

課題：収益的に厳しい面がある。内容によってはサポーターが大勢必要となり、サポーター集めに苦労している。



2-4 全国森カフェプロジェクト推進チーム（出張森カフェ／コラボ企画）

2017/6/18、11/4 森カフェ in 松川

2017/8/19、9/18 国営アルプスあづみの公園

成果：国営アルプスあづみの公園で出張森カフェを2回、松川町で2回、実施することができた。

課題：出張森カフェに関する問い合わせは増えてきているが、まだ実現に結びついていないものがいくつかあるので、出張森カフェを依頼する側の課題を探り、依頼しやすい体制を検討していく必要がある。



こどもたちがもっと元気に輝く地域に



2-5 里山子育て・子育ちセミナー・フォーラムの開催/主催事業

2017/6/25 「森が支える子どもの成長～ファミリーキャンプのススメ」

講師：鈴木道郎氏（信州伊那谷キャンパーズヴィレッジ）

参加者 10人

2018/3/11 子育て・子育ち支援フォーラム

「子どもの成長と自然とのかかわり方」

コーディネーター：中澤朋代氏（松本大学総合経営学部

観光ホスピタリティ学科准教授）

パネラー：原 薫さん（株式会社柳沢林業 代表取締役）

末次克洋さん（CMLE認定ブッシュクラフトインストラクター）

竹内延彦さん（長野県県民文化部次世代サポート課）

河西香保里さん（松本市在住の2児の母）

参加者 18人

会場：塩尻市市民交流センター

成果：参加者からはセミナー、フォーラムともに好評だった。特にセミナーについては、

その後、実際にキャンプに出かけましたという声を聞くことができたほか、森カ
フェへの参加にもつながった。フォーラムについても、パネルディスカッション
終了後に参加自由の交流タイムを企画したところ、ほとんどの方が残り、情報交
換を続けていた。

課題：フォーラムについては、今回の参加者層であれば、フィールドの近くでの開催で
も良かったのではないかと感じたので、検討が必要。



2-6 関係ネットワークへの参加

◆信州外あそびネットワーク

2017/9/2 森のフェスティバル、2017/12/23 里山のクリスマス会

→出前外あそびとして実施

2018/1/9 外あそびネットワーク新年会、本部会議に参加

2018/2/20 外あそびミーティングに参加

地域フォーラムの事前会議に参加（2回）

外あそびネットワーク事務局として会計を担当

◆木育フェスティバル実行委員会

2017/9/2 森のフェスティバル

2017/11/18・19 木育フェスティバル

実施に向けて、実行委員会に参加

◆地域づくりネットワーク

今年度から、やまびこネットワークとは別に会員となる

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



◆中信地区環境教育ネットワーク

2018/2/20 報告会に参加

◆NPO法人自然体験活動推進協議会

2018/2/21-22 リスクマネジメントディレクター講習

◆ハッピーハロウィン実行委員会

2017/10/28 ハロウィン

実施に向けて、事前会議に参加

(3) 体験事業に関わる指導者育成事業

3-1 森カフェコーディネーター養成講座/主催事業 (2015年度より実施)

2017/9/4 養成講座の開催

会場：上小曾部転作促進研修センターおよびハイジの森

参加者：4名

成果：長野県内・県外の広い範囲に広報した。そのため、麻績村より参加があった。麻績村で実施してくれたため、新聞に大きく取り上げてもらえた。

また、県外より2名の参加があった。平日開催だからこそ参加してくれた人がいた。

課題：当日キャンセルが2名あった。キャンセル料を検討したほうが良い。参加してくれた人が、森カフェを実施していくためのフォローをきちんとしていく必要がある。

また、暖かい季節にも開催し、年2回程度開催したい。継続して実施していくことで、出張森カフェや森カフェの広がりを期待したい。



3-2 サポーター向け勉強会

未実施

(4) 地域の情報収集発信事業

4-1 メールマガジン発行

2017/4～2018/3 登録 51人 (↑20人)

HTML形式のメールマガジンに完全移行した。

メールマガジンの開封率は47～54%程度なので、開封率を高める工夫が必要。

4-2 活動の動画配信

依頼なし

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



4-3 げんすけがゆくの発行

未実施

(5) 地域の物産開発ならびに販売事業

5-1 げんすけグッズ/FR

◆塩尻市内の店舗での販売

→ (モナミ美容室、温(ぬっく)、木曽地場産センター)

◆イベントでの販売

2017/4/16 さくらフェスタ

2017/9/3 ひらいで遺跡まつり

2017/11/18・19 木育フェスティバル&まちづくり交流会

2018/2/11 げんすけ祭り

売り上げ：店舗：18,110円（↑1,955円） イベント 13,750円（↑2,415円）

5-2 こどもたちの元気の源「元源ブランド」づくり/FR

未実施

(6) 地域課題解決のための企画運営事業

6-1 出前イベント（ワークショップ）

依頼がなかったため、未実施

— NPO法人の運営 —

(1) 理事、事務局の対外的な活動

◆講師

2017/7/15 林業センター 虫の観察講師（理事長 山田勇）

2018/2/17、24 高出地区子ども会育成会（理事長 山田勇）

2018/2/27 あさひ環境のつどい（理事長 山田勇）

2018/3/4 しおじりボランティアのつどい（理事長 山田勇）

◆委員会・会議出席

塩尻市中央公民館運営審議会（理事長 山田勇）

◆その他

市民タイムス リレーコラム「のんびりあそぼう」掲載（理事長 山田勇）

(2) 法人内の活動

・会議

◆総会

2017/4/28 通常総会

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



◆理事会

2017/4/2

2017/10/10

・広報

パンフレットの配布、Twitter・Facebook・Instagramの更新

松本市へのブース出展、コラボ企画等を実施→未実施

各新聞、月刊イクジィ、Kids Komachi、別冊KURA 信州塩尻等に掲載

・ファンドレイジング

げんすけグッズの販売のみ実施。

・会員向けサービス

会員オリジナルげんすけカード（会員証）を発行

わおん♪会員通信を3ヶ月に1回発行

森カフェへの参加割引

・会員募集

森カフェをきっかけに会員が増えた

・管理（顧客・備品）

セールスフォースを整備する予定だったが、実施できず

・会計、税務

引き続き、会計王を活用。

事務局は3ヶ月ごとにチェックした。

講師謝礼、給与に関して、源泉徴収を実施している（2016年1月～）

住民税は特別徴収を実施

・労務事務（法人事務）

社会保険への加入している（2015年12月～）

拠点となる事務所を検討する

（もしくはクラウドサービスを活用して、情報共有しながら仕事をする）

※書類データ：Dropbox 写真データ：box 遠隔会議：appear.in →実施

日々の情報共有：Facebook グループ →実施

顧客情報等：セールスフォース → 試行

タスク管理：Evernote →実施

労災、雇用保険は入れない

こどもたちがもっと元気に輝く地域に

